



このとい通信

鍼温灸で本来の治癒力を アップしよう

個々の全身状態を診ながら行う鍼温灸で、自分自身の体を調整していく。自ら健康になろうとする力を高めながら、周期調節法も視野に入れた鍼温灸の不妊治療を行えば、妊娠しやすい体に改善できます。

中医学の鍼温灸で自然治癒力向上妊娠の確率が95%高くなる

鍼温灸治療も漢方と同じように、病名にだけ目を向けるのではなく、個々の全身状態を診ながら治療を行います。鍼温灸を通じて外部からの刺激により体内部に働きかけ、体を調節し、体の治癒力アップのサポートをします。鍼温灸での不妊治療は古くから行われており、高い効果があることが実証されています。また、2002年にドイツと中国の合同研究チームが、鍼温灸治療が不妊症の改善に効果があると、アメリカの生殖医療学会誌で報告しています。



調査は人工授精を受ける160人の女性を対象に行われました。あらかじめ2つのグループに分け、一方に鍼温灸治療を行ったところ、鍼温灸治療をしていないグループの妊娠率が26%。それに対して治療を行ったグループは42.5%でした。人工授精の妊娠率は、よくて3割といわれますから、これはかなり高い数字といえるでしょう。2009年2月7日付けの英国医師会誌「British Medical Journal(BMJ)」のオンライン版に、体外受精を受ける女性が、同時に鍼温灸治療を受けると、妊娠の確率が95%高くなることと記載されるなど、鍼温灸の不妊治療は世界中で注目されて

います。

気の流れが悪い「気滞」と血流が悪い「瘀血」に効果的

漢方薬と鍼温灸を併用すると相乗効果があるのですが、西洋医学の治療に鍼温灸を加えてみたいと考える方もいるでしょう。

鍼温灸にもさまざまな効果があるのですが、気や血の滞りを改善し、循環を良くすることを得意とします。冷えの症状がある人などには温灸が特に効果的です。

必ずといえませんが、排卵着床がうまくいかない方は、温灸によって骨盤内循環を良くすることで、排卵や着床の手助けをすることができるとです。

漢方薬と併用することで相乗効果が得られる

中医学の周期調節法も視野に入れ、漢方薬に鍼温灸治療を組み合わせることで相乗効果を得ることができず。鍼温灸の刺激は、自らの力でホルモン分泌を促し、月経の安定、ひいては

妊娠力をアップする手助けとなるので
す。
鍼灸は以下のような効果があります
すので、西洋医学の不妊治療と併用す
るのもいいでしょう。

① 女性ホルモンのバランスをとる

女性ホルモンの分泌を促すため、卵
子の発育もよくなり、着床しやすい
ふつくと厚い子宮内膜にします。
ホルモンバランスがとれることで、基
礎体温が整い低温層と高温層の2層を
しっかりとつくることができます。

② 排卵をスムーズにする

排卵障害による不妊症の場合は、排
卵期に鍼灸治療を施すことにより排
卵を促します。

③ 月経期の子宮内膜の排出を促す

子宮内膜の厚みはあるにもかかわらず、
月経の出血が少ないのは、子宮内膜が
しっかり排出されていない場合があります。
ます。月経前や月経期に鍼灸治療をす
ることで、子宮内の不要な血液を充分
排出させ子宮内膜を掃除することで、
新たな子宮内膜による、着床しやすい
環境が整います。

男性不妊にも効果が期待できる

鍼灸治療は、男性不妊の治療でも、

原因や患者の体質に合わせた治療を行
っていきます。腎のツボはもちろん、
女性不妊同様に自律神経のバランス、
ひいてはホルモンバランスを整えるこ
とで、生殖機能の力を高め、精力・精
子の数・精子の質のアップを促すこと
が期待できます。また、治療により、
心身のストレスや疲労を解消させたり、
体力回復を促す手助けとなります。精
子の質はストレスに大きく左右される
ことがわかっていきますが、職場のスト
レスや疲労を解消し、体力をつけるこ
とも鍼灸治療で可能になります。
治療を受けた日はお風呂も飲酒も2
時間は控えます。お風呂やお酒は全身
刺激になってしまい、目的のツボへの
刺激・効果が薄れてしまいますからです。

妙泉堂薬局の

お奨めはこれだ！

温灸が命の灸をともす

現代社会では体を冷やす生活や食事
が習慣化しています。体を冷やすとホ
ルモンのバランスが悪くなり、血流も
滞り、妊娠するための準備もしにくく
なります。当店では漢方薬と併用して、
温灸で体を温め、妊娠しやすい体作り
のお手伝いをしております。

当店でお奨めしている温灸器の特徴



ショウ氏温灸器
・固定ベルト
・温灸ハサミ
・温灸本
・温灸剤セット
¥9765 (税込み)

は、
① 誰でも簡単
に使えます。
鍼灸の専門
家の指導がい
りません。
② 使用時の安
全性が高く、
温灸の跡が残
りません（女
性の方にもお
奨めです）。
③ 厚生労働省
より、医療器
具としての承
認を受けています。
不妊症の場合の温灸の位置は神ケツ
（おへそ）と関元（おへその約5cm下
の位置、子宮の真上の位置です）を15
分ずつ、就寝前と起床時の1日1〜2
回行うのがもっとも効果的です。
当店内でも温灸体験出来ますので、
ご来店の際、お伝えください。

